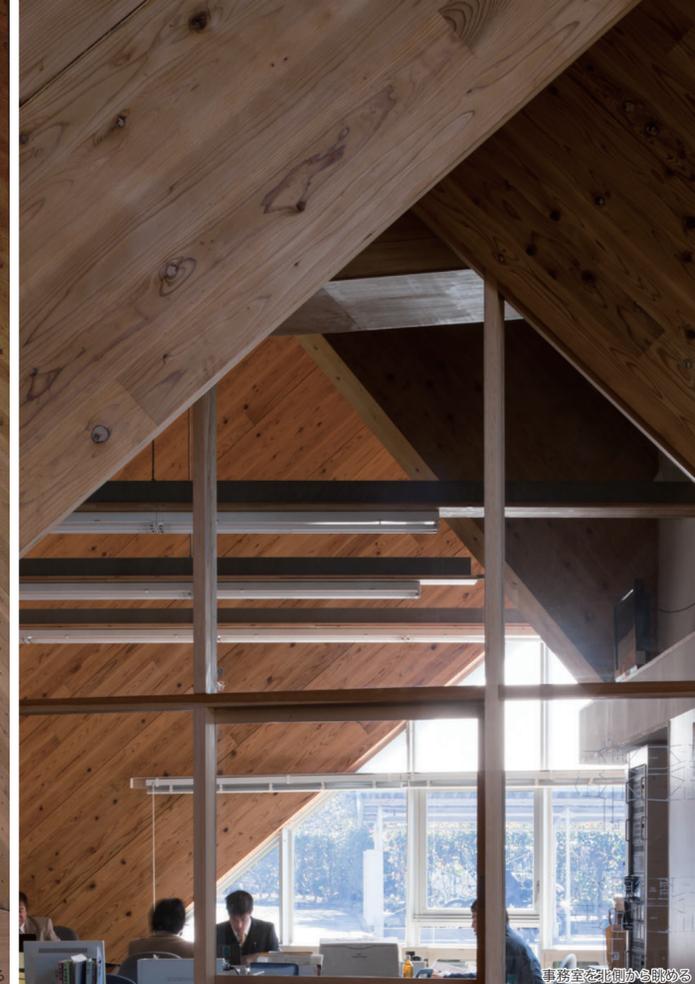




図書室を眺める



ホールから昇降口側を眺める



事務室を2階から眺める

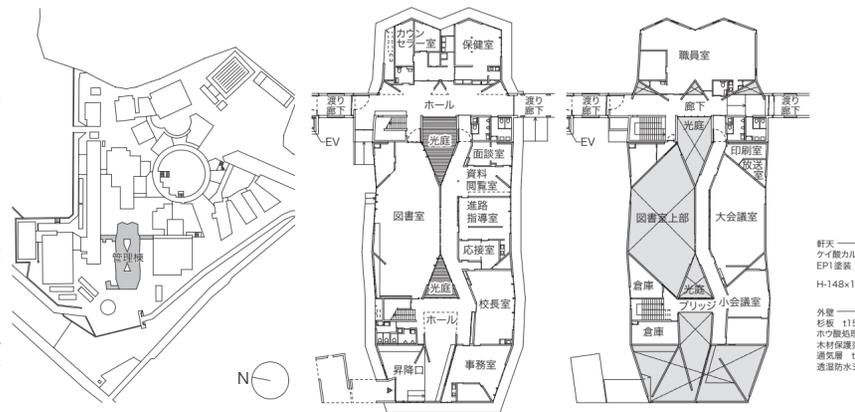
熊本県立球磨工業高等学校 管理棟

「木の洞窟」

熊本県人吉市に建つくまもとアートポリスプロジェクト。コンセプトは「木の洞窟」である。地域が育んできた豊かな森林資源を体感できる、独特な木の空間を目指した。別世界の集落のような校舎群に入る「異界への入口」と本建物を位置づけ、洞窟のように、林立する壁がさざぎると同時に奥へ人を誘導し、さまざまな場所が見え隠れしながら繋がる構成とした。具体的には、スギ材を連結した逆三角形の壁柱を、歪んだ六角形グリッド平面に沿って建てながら互いに連結、屋根架構の梁と繋いで全体を作っている。

大きさや角度、方向性がまちまちな壁柱と歪んだグリッド平面は、全体がすぐには掴めないことから奥行き感、期待感を誘発する。ハイスାଇドライトや光庭から注ぐ天光と、ルーバーや格子など線状の材料によって、木の量感と軽さが両立して身体に動きかける空間を試みた。

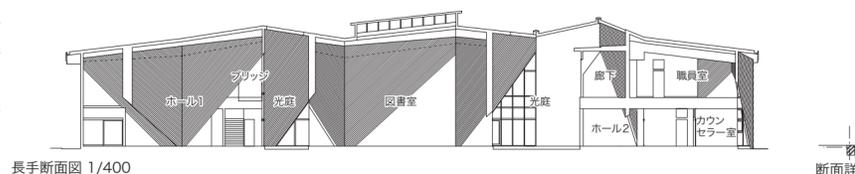
壁柱の構成材は、長さ4m、断面120×180mm(一部210mm)のスギ心持ち流通材で、材軸方向を木ダボで継いでいる。施工性と乾燥収縮による変位吸収を想定し、三角形の面を600mm巾のユニットに分節して木ダボと覆い実で連結、壁柱外周部を主要な耐震フレームとしてヒエラルキーを明確化した。壁柱高さを9m以下に抑えながら谷樋を作らない屋根形状とするため、構造構面となる鋸屋根の上に束を立てて置屋根を作っている。校舎間をつなぐ渡り廊下との部分にRC造の区画ゾーンを設けている。



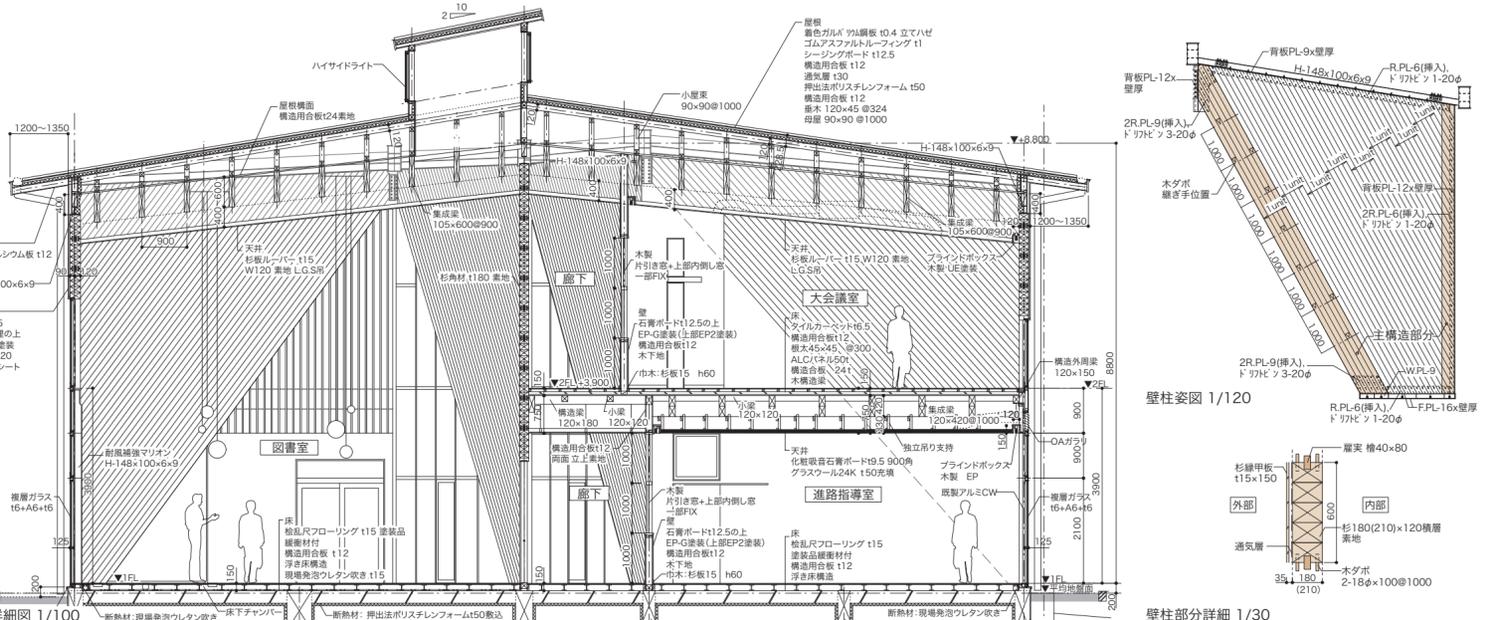
配置図 1/4000

1階平面図 1/700

2階平面図 1/700



長手断面図 1/400



断面詳細図 1/100

壁柱姿図 1/120

壁柱部分詳細 1/30



壁柱で構成された全体イメージ



北側外観



2階渡り廊下を北側から眺める



大会議室を東側から眺める



① 軸方向の接合



② 積層方向の接合



③ 600幅のUnit部材



④ 現場地組



⑤ パネル建方



⑥ ジョイント金物による壁柱の連結